

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名

みたけ

日付 平成 20年 3月 31日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験15年

評価調査員 介護支援専門員経験5年

[自主評価結果を見る](#)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります!\)](#)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

国道二号線を少し入っただけなのに、周辺はとても静か。里山を背景に所々田畑が残る昔ながらの住宅地の中にホームがある。ぐるりを畑に囲まれた広い敷地にアイボリーの建物と洒落たウッドデッキのベランダが印象的だ。比較的軽度の利用者は全員女性。雑誌を広げたりお喋りしたりと、皆リビングで思い思いに寛いでいる。出窓には木蓮・ラッパ水仙・散歩の帰りに摘んで帰ったクロバー等を、それぞれ小さな花瓶に生けてずらりと並べている。あたり一面春の匂いに包まれている気分になる。「小さいのもそれなりに可愛いだろう？花見てたら腹立たんわなあ」花の好きなAさんは優しい顔になる。食卓にはほんのり色づきかけた蕾のチューリップがあった。「春はやっぱりチューリップじゃなあ、花に勢いがある。でもこのチューリップ咲くかな？ピンクの花みたいじゃけど、もうちょっと置いてやりゃええのに、早う摘んでも可愛そうじゃ。ええように水あげたら咲くかな？」テーブルを拭くのを止めてAさんはいそいそと水を替えに行く。自分の好きな事が発揮出来るのは嬉しい。最高齢のBさんが話しかけてくる。「私の夫は銀行の取締役で、河野洋平の隣に住んでいた。偉い人は違う。ちゃんと挨拶してくれる。岡山の人ちょっと偉うなったら図々しい。私は東京の人が好き。でもこの人は皆ええ人よ」管理者が「東京の人に近い？」と聞くと「コラ、調子に乗るんじゃない！」手をピシャリと叩かれた。「あんた何しに来たん？」と聞かれて、グループホームの勉強に来たと答える私の横で職員が「判りましたか？」と言ったら「コラ、私を馬鹿みたいに言うんじゃない！」と頭をポコンとやられて皆で大笑い。言いたい事が言えて、したい事が出来て遠慮がないのは居心地が良い。「まあしっかり勉強して帰られ、ここのご飯は美味しいよ。今日食べてみりゃええが、それになあ、あっち見てもこっち見ても景色がええじゃろ。畑が見えて、緑が見えて、空が見える。そら、見たかじゃ」駄洒落を言いながらCさんがホームの良さを教えてくれた。その言葉通りに大きな窓越しに見える明るく開放的な田園風景の四季は、利用者の何よりの癒しになっている。リビングの神棚を見上げていたら「一軒の家にはなあ、一応神さんはないとな。しっかり治めて貰わにゃ」と教えてくれる人もいた。ホームは皆の第2の家になっていた。

特に改善の余地があると思われる点

洒落たウッドデッキとバックの野山の借景は素晴らしい。良い季節になるので、テイクタイムやランチタイムに活用したら如何だろうか。ホームのリビングルームや交流室等たくさんの空間があり、このホームの食事は素晴らしいので、色々な空間を活用して、ここでの生活を楽しんで欲しい。
設立して1年なので、これからこのホームの味が出て来ると思う。管理者を始め良いスタッフがいるので、みたけのケアマネジメントの柱(特長)を作るのも良いかも知れない。今後のホームの成育に期待する。

2. 評価結果 (詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…特に改善項目はないが、理念に掲げた6つの項目を具体的にケアサービスに表す為に、月間・年間に重点的に当たる目標設定をして、ホームの特長に結び付けていくと良いと思う。</p> <p>2、全体的に見て…身内の介護経験からその苦労を実感した代表者は、地域の高齢者の為に何か出来ないだろうか考え、受け皿の必要性を感じた。認知症ケアの仕事に携わっていた管理者は、利用者の今までのペースを継続出来る自分の考える支援をやりたと思った。代表者と管理者は協働してホームを立ち上げ「より家庭に近い状態で、自由に好きなように暮らして欲しい。その人らしく生きる事を個別支援で支えたい。そして自分達も住みたくなるような第2の家を目指したい」と、心を合わせて日々努力している。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…昨年に開設したばかりで、建物・設備は申し分ない。外回りの設備や借景にも恵まれているので、この空間を利用者が活用していき、このホームの良さは、利用者や職員の人間が作り上げていくと良い。</p> <p>2、全体的に見て…「手摺があるから毎日ご飯食べにゆっくり歩いて行ったら足がしゃんとした気がする」Dさんが笑いながら話してくれる。居室からリビングへの長い廊下は歩行訓練の場になっている。大きな柱にフローリング・棕の木のかみ溢れる拘りの造りで、窓が大きく全体に明るい感じがする。リビングや地域交流室から広いウッドデッキのベランダに出て、心地良い風を感じながらお茶を飲むのも良さそうだ。ゆったりと広い敷地は実に贅沢、畑でも花壇でも存分に出来そうでワクワクする。ハード面は充実している。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人のできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…現在までのケアマネジメントのやり方を先ず大切にして、仕上げていく事が大切である。従って改善事項というより、一つひとつの項目の内容をよく考え、味のあるものに育てていく事に重点を置いていって欲しい。</p> <p>2、全体的に見て…独居の不安から眠れず眠剤服用していた人がホームに来て、何時も誰かいる安心感で眠れるようになり薬を止めた。皆と食べる食事が美味しく食欲が出て、フワフワだった足取りもしっかりしてきた。帰宅願望もなくなり「家をどげんかせんといいん」と言い出し、声までしっかりしてきたと家族も驚いている。自分の娘も判らず突発的に外に飛び出そうとしていた人が、家族と相談して実家の環境に近づける様馴染みの家財道具を持って来たら、ホームの生活に満足して落ち着き、娘が判るようになった。その他にも男性恐怖症が改善する等、ホームに来て良かった事例は多い。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
記述回答	<p>1、自主評価について…家族との関係、地域との関わりも充実していかなければならないだろう。総花的に何もかもというのは出来ないと思うので、運営推進会議の運営を充実して、楽しく集まれる雰囲気の中で一つひとつ芽を育てていって欲しい。</p> <p>2、全体的に見て…近隣の利用者が多く、代表者も管理者も地元出身で地区の事情に精通している。管理者の子供の運動会に皆で出掛けた。ホーム周辺を散歩していたら、元教師の利用者の教え子に会って話が弾んだ。代表者も管理者も地区住民なので、地域の溝掃除等には利用者と一緒に参加した。ごく普通の家庭と同じように、自然な交流が来ている。代表者も管理者もホームの直ぐ横に家があるので、24時間何時でも何かあった時は直ぐに対応出来るので心強い。ホームが地域の認知症ケアの啓蒙拠点となる素地は十分だ。開設して未だ1年だが、今後は楽しみなホームである。</p>		